平成27年度「キャリア・コンサルティング研究会」報告書の概要①

1　趣旨

キャリアコンサルタント登録制度（国家資格制度）創設を機に、改正職業能力開発促進法、同政省令に基づく関係各機関に求められる具体的要件に併せ、国の制度設計・事業運営、民間のキャリアコンサルタント養成団体等、各キャリアコンサルタントに期待されるそれぞれの役割等を論じることにより、我が国におけるキャリアコンサルタントの普及促進及び資質確保を進める方策の全体像を明らかにする。

2　キャリアコンサルタント登録制度（国家資格制度）の創設

・厚生労働省において、平成14年度以降、段階的にキャリアコンサルタントの資質保証にかかる取組みを進めてきたが、国家資格制度を創設したという点で、今般政策上大きな節目を迎えたもの。

・キャリアコンサルタント登録制度を構成するキャリアコンサルタント試験、キャリアコンサルタント試験の受験資格となる厚生労働大臣が認定する養成講習、試験に合格したキャリアコンサルタントの登録制度の事務を担う指定登録機関、登録を更新するための更新講習について、その登録や指定に際して専門的・総合的観点から審査を行うことで、その資質保証を図る必要。

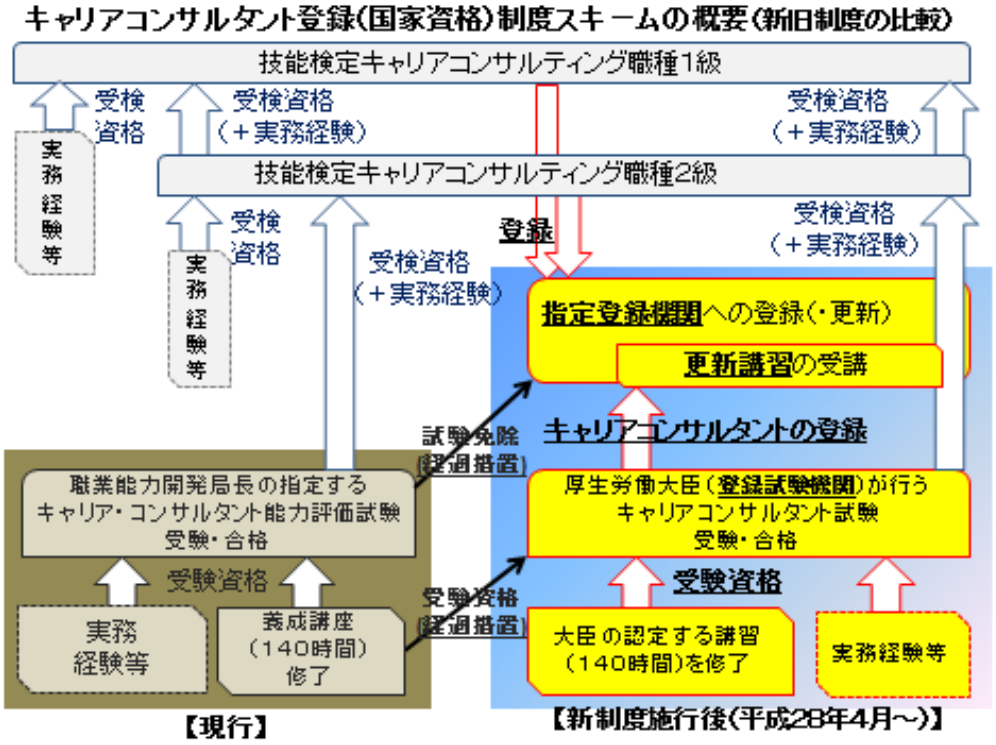
キャリアコンサルタント試験及び養成講習について

・キャリアコンサルタント試験については、キャリアコンサルタントの資質保証の要となるもの。試験の水準及び範囲、またそれに対応する養成講習のカリキュラムについては、従前のキャリア・コンサルタント能力評価試験と創設されるキャリアコンサルタント試験と能力の範囲及び水準について実質同程度との考え方にたち整備。

キャリアコンサルタントの登録及び更新について

・キャリアコンサルタントの資質の維持向上を図るための登録の更新について、要件とされている時間数や科目を超えた継続学習にかかる積極的な実施・受講を期待。

・キャリアコンサルタントの登録の更新について控除対象と位置づけた１級キャリアコンサルティング技能士による実務指導は、指導者を増やしてその実施体制を整え、積極的に受けることを推奨。

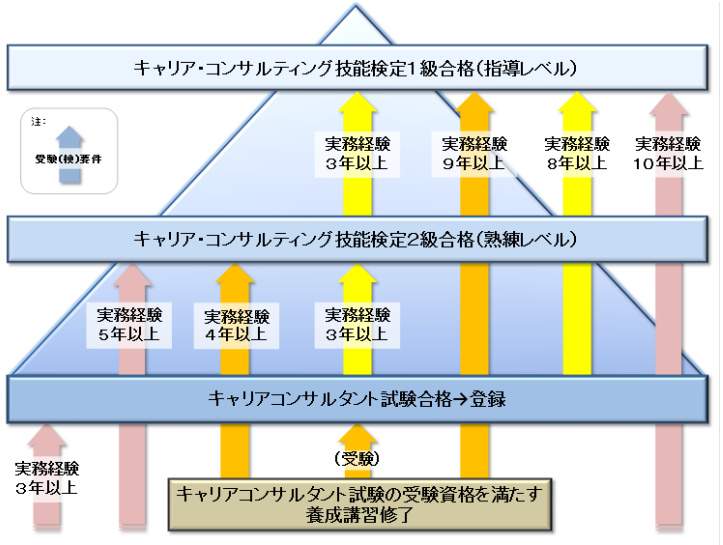


平成27年度「キャリア・コンサルティング研究会」報告書の概要 ②

3　従前のキャリア・コンサルタント能力評価試験制度及び技能検定との接続について

・現行のキャリア・コンサルタント試験合格者及びキャリアコンサルティング技能士保持者による、キャリアコンサルタントの登録が円滑に進むよう、キャリアコンサルタント登録制度に係る積極的な周知広報が必要。

・キャリアコンサルタント試験合格者について、能力水準及び範囲においてより上位な資格として位置づけられる技能検定の取得を促進するためのインセンティブ等を明確化する必要。



4　キャリアコンサルタント登録制度（国家資格制度）創設後の展望と課題

〇キャリアコンサルティングに対する期待は今後も高まるものと考えられる。キャリアコンサルタントが一層の実務経験を積み、知識・技能、さらに職業倫理を高めることを促す設計とするべきもの。

・<u>キャリアコンサルタントの継続的質保証</u>
　キャリアコンサルタントの活動分野等のデータベース・情報発信とキャリアコンサルタントを活用する利用者とのマッチングを展開する取組みについて、キャリアコンサルタントの幅広い活動や学習のインセンティブ付与・活動領域・資質等の観点から、マッチング機能の強化を図ることが期待。

・<u>キャリアコンサルタントの活動・成果等の把握分析</u>
　キャリアコンサルタントの有用性・意義、多角的かつ客観的なキャリアコンサルティングの成果の提示について、これまで普及促進が十分に進んでいない企業内領域においてとりわけ重要な課題。

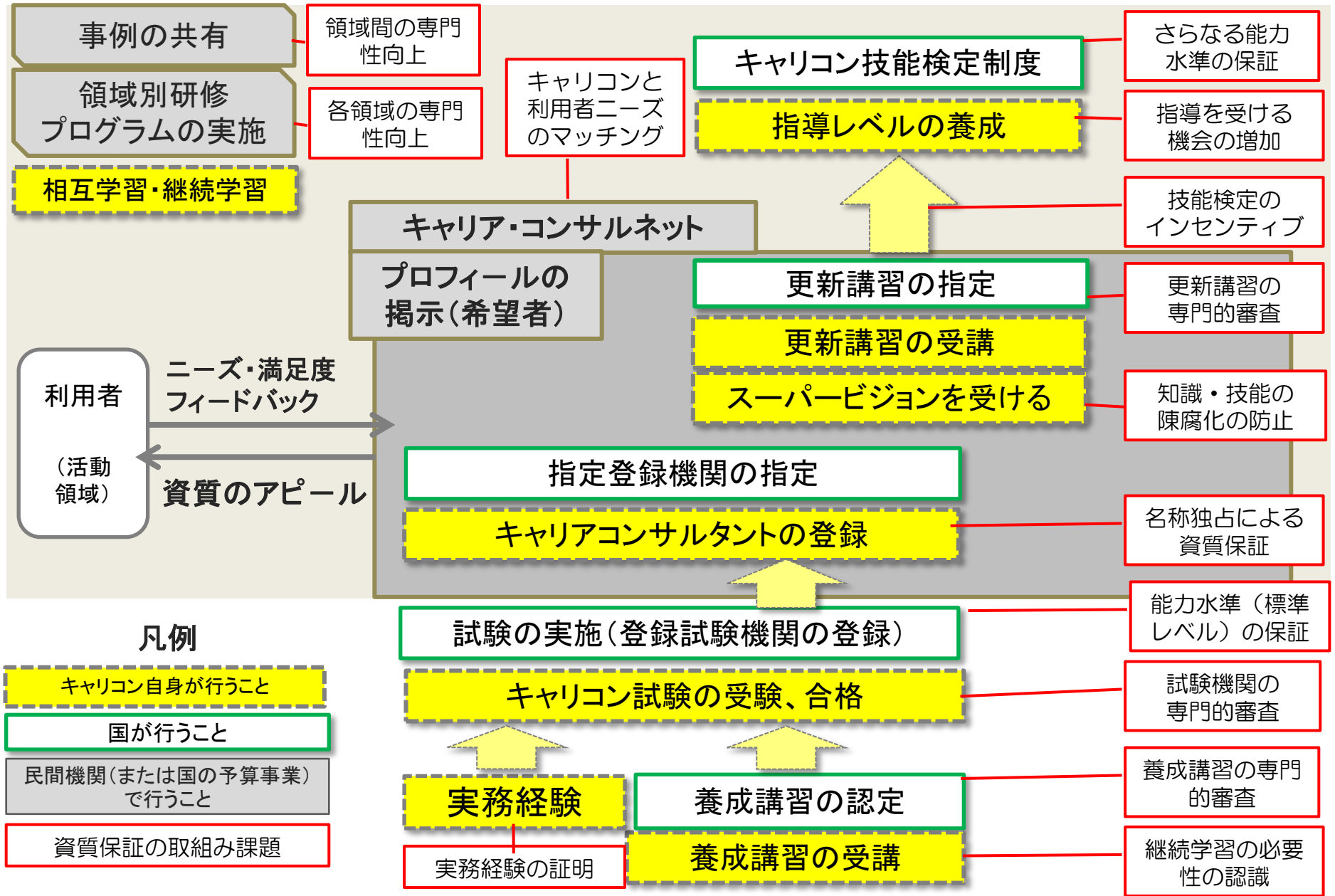
・<u>領域別・領域共通の専門性向上</u>
　キャリアコンサルタントが領域別、また領域共通の経験を相互に共有する仕組みの整備が課題。

・<u>企業における経営課題とキャリアコンサルタントの関わり</u>
　企業においてキャリアコンサルタントによる相談その他の支援の機会提供が具体の課題となっているところ、キャリアコンサルタント自身が、企業経営の課題や人事管理等についてより実践的な理解を深めることが不可欠。

・<u>労働者の主体的なキャリア形成の促進に向けた新たな取り組みについて</u>
　日本再興戦略に位置づけられた「セルフ・キャリアドック」の推進を図る等、労働者が定期的にキャリアコンサルティングを受ける仕組みのモデル整備を期待。

・<u>キャリアコンサルタントの行動規範の確保について</u>
　法令上規定された守秘義務及び名誉失墜行為の禁止の徹底に止まらず、キャリアコンサルタント職能団体等が中心となり、職業倫理に関する啓発的な活動を行うことでの行動規範の確保を期待。

・<u>キャリアコンサルタントの能力水準自体の見直し・拡充等</u>
　キャリアコンサルタント登録制度の安定運用が確認された時点で、能力要件の精査・スペックの拡充検討が必要。

・<u>キャリアコンサルティングの国際的な動向</u>
　国際的な動向や先進的な事例についても参照の上、制度設計に活かしていく必要。

キャリアコンサルタント国家資格化後の資質向上・保証スキーム全体像（イメージ）